

白山市の観光 PR 動画作成

～SDGs未来都市白山市の賑わい創出事業～

団体名 ● 牧野ゼミナール (3年) / 代表者名 ● 牧野耀 (経済学部経営学科・講師)

はじめに

金沢星稜大学「地域連携による地域貢献活動推進事業」SDGs未来都市白山市の賑わい創出事業の参加ゼミとして、本ゼミでは若者視点での白山市の観光 PR 動画作成の試みを行った。本ゼミでは、松任駅南周辺地区賑わい創出実態調査事業からスタートしたことから、このプロジェクト名を「まっぷろ」とゼミ内にて称している。昨年度は松任エリアのおすすめスポットの店主インタビューや観光プランの作成などを通して観光 PR 動画を作成した。そして本年度は、より広いエリア「白山市」全体を対象として松任駅や道の駅めぐみ白山をゲートウェイとして交流人口を呼び込み、白山ろくにまで誘導し賑わい創出につなげるという戦略のもと、各ゼミの専門性を活かし、SDGs未来都市白山市のプロモーション及び白山手取川ジオパーク国際認証の機運盛り上げの一助とすることが目的に掲げられた。そこで本ゼミでは、白山市での動画作成を検討した。

活動内容

今年度の活動内容は、動画作成を通して白山市の魅力を知ってもらうための提案・PRを行うことである。流れとしては、10月までは、YouTube・SNSの投稿より白山市の自然(レジャー)を楽しめる魅力的なスポットの情報収集、そしてディスカッションを通して訪問先の選択やプランの作成、11月に現地での動画撮影、1月と2月に動画作成、2月に、白山市への報告会で発表という順に行った。

ディスカッションにおいては、白山市で若者に人気がありよく画像がシェアされるようなスポットは鶴来エリアに集まっていると考えられた。獅子吼高原、綿ヶ滝、白山比咩神社などの自然豊かな名所とオシャレな飲食店などが集まり、魅力的なエリアと考えられた。しかしながら観光スポット間の距離がやや離れており車での移動となることが課題点として挙げられた。

その他のエリアでは、呉竹文庫、手取川ダム、百万貫の岩などが自然景観を楽しめるおすすめのスポッ

トとして挙げられた。呉竹文庫は貴重な展示品のある施設であると共に白山連峰の均整のとれた姿を望むことができる場所としても知られている。ドローンによる景観の撮影のため練習や調整等を進めていたが、残念ながら感染症対策のための活動禁止期間となり、撮影実施は叶わなかった。

成果、結果の考察

活動の成果として、観光プランを通して白山市の自然や景観を体感できる魅力的なスポットを直接現地で体験することで、より若者たちへのPRに説得力を持たせることができた。実際にプランを検討することで、広報だけでなくアクセス面にも目を向ける必要があるということが分かった。例えば、若者に向けたお洒落な電動バイク、自転車のレンタル、送迎バスの手配促進などが対策として考えられる。

またパラグライダーのインストラクターの方のお話より、獅子吼高原は、日本中のライダーが憧れる環境であるなど、自然レジャーとしての地域資源の魅力を知ることができた。

今後の課題

十分な撮影と発信が行えなかったことが課題である。また白山市への報告会では、学生によるスポットの解説などがあるとわかりやすいという助言をいただいた。歴史を若者にもわかりやすく広めることや交流人口がより増えるような仕掛けを検討していくことが今後の展望となる。

